

第5学年 国語科学習指導案

日時 平成26年10月10日(金) 公開授業1
単元名 「暮らし」について意見文を書こう
教材名 「グラフや表を引用して書こう」
児童 男子 8名 女子 9名 計17名
指導者 井出 敏之

1 本単元で取り上げる主たる指導事項

- B書くこと ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。
エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

2 身に付けさせたい力(視点1との関わり)

- 目的や意図に応じて、書く事柄を収集する力
- 全体を見通して事柄を整理する力
- 自分の考えを分かりやすく伝えるために、どのように図表やグラフなどを用いるか考える力

3 単元を貫く言語活動とその特徴

単元を貫く言語活動(第5・6学年 言語活動例 Bイ)

グラフや図表をしっかりと読み取り、それを裏づけとした意見文を書くこと

[設定理由]

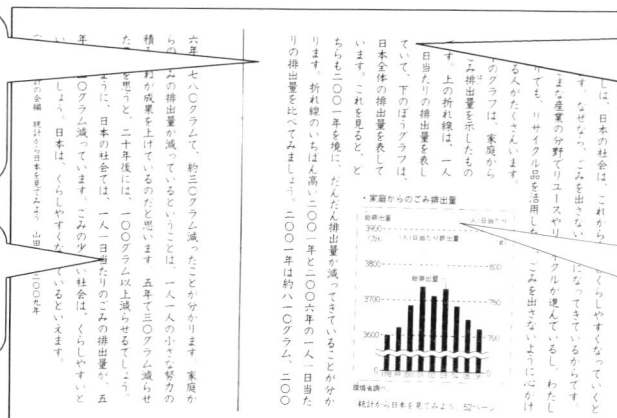
本単元を貫く言語活動として「グラフや図表をしっかりと読み取り、それを裏づけとした意見文を書くこと」を位置付けた。自分の意見を主張し、その内容を理解してもらうためには説得力が必要である。そのためには、事柄を収集し分析して、自分の意見の裏付けとすることが大切である。更に、集めた事柄の中から裏付けるために必要なことを選び、整理しなければならない。そして、意見が伝わりやすくなるように文章を構成する必要がある。従って本単元でねらう「考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること」(B書くことア)、「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」(B書くことエ)を実現するにふさわしい言語活動であると考えた。

[様式]

- ・意見文は〔意見の提示・意見の説明と資料の提示・結論(意見の再提示)〕で構成する。
- ・グラフの下にグラフや表を引用した文献を書かせる。
- ・中(意見の説明と資料の提示)は200字から300字程度とする。
- ・本単元で児童が書く意見文は、次のような構成をもっている。

「中」
理由を示して、自分の意見を書く。
(書くことア)

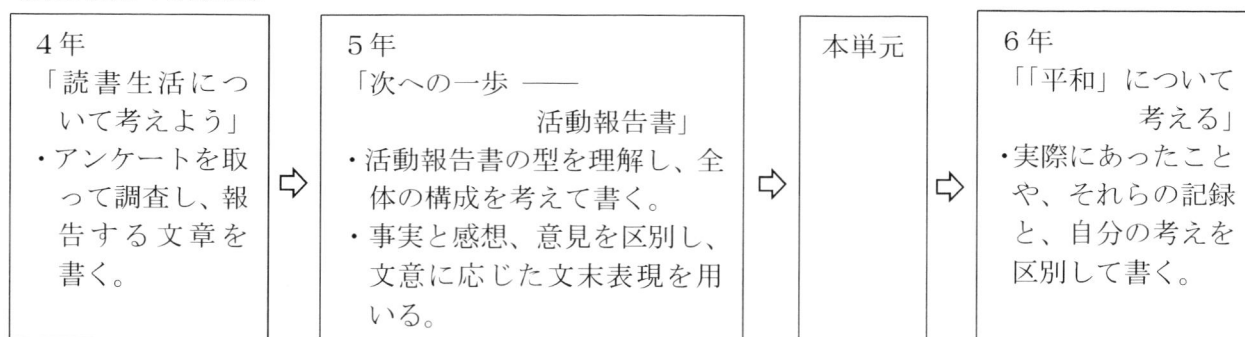
「終わり」
全体をまとめる形で書く。



「初め」
理由を示して、自分の意見を書く。
(書くことエ)

「グラフや表」
意見の根拠となる資料を入れる。

[言語活動の系統性]



4 単元について

(1) 児童について

児童は、第4単元の「次への一步 —— 活動報告書」で全体の構成を考えて書くことと事実と感想、意見を区別し、文意に応じた文末表現を用いて文章を書く学習を行った。この学習を通して、今までの係活動を振り返り、具体的にやったこと、成果や課題を挙げることで、それについての自分の考えを書くことができた。活動報告書の構成についても理解し、型に合わせて書くことができた。しかし、内容については児童によって差があり、活動したことの成果と課題にあまり触れずに次にならばりたいことを書いたり、活動したことと自分の考えが十分には分けられていなかったりした。

係活動の振り返りの仕方についても、客観的に分析できていない児童やどのように分析すればいいのか資料の見方について支援が必要な児童がいた。

(2) 教材について

本単元は、児童の「暮らし」に対する立場を「暮らしやすい」「暮らしにくい」のどちらかに決め、統計資料を読み取り、それを根拠として意見文を書くという構成になっている。

本教材には、直前の単元「天気を予想する」での学習を踏まえながら、自分の考えを分かりやすく説得力をもって読み手に伝えるための文章を書くために、調べ学習を通して収集したグラフや表を効果的に用いる活動が設定されている。ふだんの生活の中に問題点を見出すことは、自分の生活を見直すことにもなり、より主体的な活動をさせることができる。教材文の例に沿えば、グラフや表を引用する基本技術を習得することができる。根拠とするべきグラフや表から読み取ったことを言葉で表すことで表現力が付き、友達を納得させるために分かりやすい説明を考えることで説得力のある文を書く力が付くと考えられる。

これらのことを学ぶことができる本教材は単元の目標に迫るために適した教材といえる。

(3) 指導にあたって

第1次では、教材文をもとに単元のゴールを示し、資料を分析して意見文を書くという学習の見通しをもたせるとともに意欲を高める。また、前単元「天気を予想する」で学習した説明の仕方を振り返ったり、資料の用い方について確認したりする。

第2次では、取材する段階では、「暮らしやすさ」「暮らしにくさ」について自分の考えの実際が分かる資料を探し、見つけたグラフや表から読み取ったこと、考えたことをメモに書き出させ整理させる。記述の段階では、自分の考えの根拠がはっきりするようにグラフや表について、数値や比較したことなどを書かせる。「意見の提示(初め)」「意見の説明と資料の提示(中)」「結論(終わり)」の構成とし、中は200字から300字程度にまとめさせる。

第3次では、壁に意見文を貼りだし、書いた文章を互いに読み合えるようにする。書かれている文章に説得力があるかという観点で、表現の仕方に着目して交流させ、付箋に書いて貼ることで意見や感想を伝え合わせる。

5 単元の指導目標と評価規準

<p>○意見に説得力を持たせるためにグラフや表を用いたり、自分の考えの根拠となる事実を引用したりしながら意見文を書こうとしている。 【国語への関心・意欲・態度】</p> <p>○目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、図表やグラフを用い、書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。 【書くこと】</p> <p>○文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p>		
国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
<p>○自分の考えたことを伝えたいという願いをもち、それが伝わるように調べたことと考えたことなどを関係付けたり引用したりしながら、効果的に書き表そうとしている。</p>	<p>○題材に関する情報を集めて自分の考えを明らかにしたり、その考えを支えるための根拠や事例となる材料を集めたりしている。 【書ア】</p> <p>○自分の考えの根拠となる事実を表す図表やグラフを用いたりして、自分の意見が説得力をもって伝わるように書いている。 【書エ】</p>	<p>○文章にはいろいろな構成があることを理解し、目的に合った構成を選んで書いている。 【伝国イ(キ)】</p>

6 単元の指導計画（全8時間）

次	時	○目標 ・主な学習活動 ☆単元を貫く言語活動につながる学習活動	評価規準
第1次	1	<p>○単元のゴールを知り、学習の計画を考えることができる。</p> <p>・文の骨組みやグラフや表の引用のしかたを確かめるとともに、学習課題を設定して見通しをもつ。</p> <p>・教材文を読み、どのような手順で意見文を書き、どのような意見文を書くと良いか知る。</p> <p>☆友達を納得させる意見文の書き方が分かる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「くらし」について意見文を書こう。</div>	<p>【関】</p> <p>グラフや表を用いながら意見文を書くことがわかり、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
第2次	2	<p>○「くらし」について、自分が考えたことを書くことができる。</p> <p>・身の回りの「くらし」について「くらしやすさ」「くらしにくさ」の観点で思いついたことを書き出す。</p> <p>☆どのような資料があるのか知り、必要なグラフや表について考える。</p>	<p>【書ア】</p> <p>「くらしやすさ」「くらしにくさ」についての理由を書き、自分の立場をはっきりさせている。</p>
	3	<p>○「くらしやすさ」「くらしにくさ」の観点で資料を読み取り、メモに書き出すことができる。</p> <p>・「くらしやすさ」「くらしにくさ」を裏付ける「言葉」や「数値」を見つけ書き出す。</p> <p>☆グラフや表から読み取ったことと自分の考えを結びつける。</p>	<p>【書ア】</p> <p>自分の考えを支えるための根拠や事例となる材料を集めている。</p> <p>【書エ】</p>
	4	<p>○自分の集めた資料を分析し、構成を考えることができる。</p> <p>・自分の考えをはっきり伝えるためにどのグラフや表を用いて、どんなことを考えたのか書く順序を考える。</p> <p>☆表やグラフから読み取ったこと、自分が考えたことを分けて構成表を作る。</p>	<p>【書エ】</p> <p>グラフや表を用いて、自分の意見が説得力をもって伝わるように書いている。</p>

	5	<p>○自分の考えを裏づける資料を集め、「初め」の部分を書くことができる。</p> <p>・構成メモを基に自分の立場がはっきりするように「意見の提示」の部分を書く。</p> <p>☆自分の立場をはっきりとさせた意見文の「初め」の部分を書く。</p>	<p>【伝国イ(キ)】 意見文の構成要素を理解している。</p>
	6 本時	<p>○自分の選んだ資料を効果的に用いて意見文を書くことができる。</p> <p>・表やグラフを引用しながら、構成メモに沿って意見文の「中」の部分を書く。</p> <p>☆表やグラフから読み取ったこと、自分が考えたことを分けて、自分の考えが伝わるように書く。</p>	
	7	<p>○全体をまとめる形で、「終わり」の部分を書き、推敲することができる。</p> <p>・「初め」「中」の部分を受けて、自分の立場がよりはっきりするように「意見の再提示」の部分を書く。</p> <p>・自分の意見に説得力をもたせられたか、観点に従って推敲する。</p> <p>☆自分の立場をはっきりとさせた意見文を書く。</p>	
第3次	8	<p>○意見文を読み合い交流することができる。</p> <p>・書いた文章を友だちと読み合い、意見や感想を伝え合わせる。</p> <p>・意見文に説得力をもたせるための資料の使い方を振り返る。</p> <p>☆友達の見論文を読み、感想を伝え合う。</p>	<p>【関】 意見文を交流し合い、優れた点を具体的に指摘している。</p>

7 本時の指導

(1) ねらい

自分の選んだ資料を効果的に用いて意見文を書くことができる。

(2) 視点2に関わって

- ・グラフや表が裏付けとなっていることが分かる文章の書き方やグラフや表の引用の仕方を分かりやすく提示する。
- ・グラフや表を貼り付ける場所を決めた原稿用紙を使う。モデル文には書き方のチェック項目を示しておき、自分で見直しができるようにしておく。

(3) 展開

段階	主な学習活動	留意事項と評価
導入 5分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <p>グラフや表がうらづけになっていることが分かる意見文の「中」の部分を書こう。</p>	<p>・自分の集めた資料から読み取ったこと、考えたことのメモを確認する。</p> <p>・「中」の部分を書くことを確認する。</p>

<p>展開 35 分</p>	<p>3 資料を引用、解説して、文章を書く。 (1) グラフや表の引用のしかたについて確認する。</p> <p>(2) 自分の資料を読み返し、内容を整理する。</p> <p>4 意見文を書く。</p> <div data-bbox="292 629 871 927" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表を説明するとき、それが何を表しているのかを書く。 ・どのように示されているグラフや表なのか説明を書く。 ・注目する言葉や数字を書く。 ・注目する言葉や数字が何を意味するかを書く。 </div> <p>5 書いた意見文を読み合う。</p> <div data-bbox="292 1469 879 1720" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>交流の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見がはっきり書かれている。 ・グラフや表を用いて数値を挙げながら、説得力のある意見文となっている。 ・解説と意見を区別して書かれている。 ・250～300字程度で書いてある。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「天気を予想する」で資料をどのように引用していたか確認する。 ・モデル文（構成メモ）を例示し、メモがどのように「中（教材文）」の部分に書かれているかを確認する。 ・グラフや表が自分の意見の裏づけとなることを確認する。 ・注目する数値やそれが何を意味するのか確かめ、それが意見文の中に根拠として書かれていることを確認する。 ・「中」の部分は200字程度、終わりの部分は50字程度で書くことを確認する。 ・グラフや表の解説と自分の意見を区別して書くことを確認する。 <div data-bbox="911 786 1449 981" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】 B グラフや表から読み取ったことを自分の意見の根拠とし、具体的な数値を示しながら意見文を書いている。</p> </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>支援の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表から分かったこと、自分の立場から見て数値がどのようになっているかなどを確かめさせる。 ・数値の使い方やグラフや表を引用するときの書き方を確認させる。 ・口頭作文させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・交流の観点に沿ってアドバイスすることを明確にしてから読み合わせる。 ・アドバイスしてもらったことや気付いたこともとにして推敲させる。
<p>終末 5 分</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の観点に照らし合わせて自己評価させる。 ・次時は書いた文章を友だちと読み合い、意見や感想を伝え合うことを知らせる。

交流の観点	教材文	モデル文（構成メモ）	<ul style="list-style-type: none">・「中」の部分を二百〜三百字で書く。・数値を注目しながら、具体的に書く。・解説と意見を区別して書く。	グラフや表の引用のしかたについての確認事項	「くらし」について意見文を書こう グラフや表が裏付けになっていることが分かる意見文を書こう。
-------	-----	------------	--	-----------------------	---